

# 水曜通信 21

東北学院大学研究ブランディング事業通信  
「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

2019年  
4月

## 第21回水曜礼拝（公開大学礼拝） 2019年4月17日（水） 18:30-19:00



説教：野村 信（本学教授、本学宗教部長）  
奏楽：小野 なおみ（本学礼拝オルガニスト）

<礼拝次第>

前 奏：J.パッヘルベル

「おお人よ、汝の罪の大いなるを嘆け」

讃美歌：38番「わが霊のひかり」

聖 書：ルカによる福音書 5章1-6節

讃美歌：361番「主にありてぞ」

説 教：「沖へ漕ぎ出しなさい」

祈 禱

頌 栄：543番「主イエスのめぐみよ」

後 奏：J.S.バッハ

「イエスよ、わが命の命よ BWV1107」

後奏の後、30分間のグリークラブOB会の合唱による賛美を行ないます。

次回第22回水曜礼拝は5月15日です。

## 第20回 水曜礼拝報告（説教：松本 宣郎、奏楽：小野 なおみ）

2019年2月20日(水) 18：30-19：00

讚美歌：38番「わが霊のひかり」  
聖書：マタイによる福音書 20章 1-16節  
讚美歌：514番「よわきものよ」  
説教：「最後の者たちにも」  
頌栄：544番「あまつみたみも」



### 【説教要旨】

イエスの例え話は当時の日常の生活が舞台になることが多い。葡萄園の労働者の雇用が「天の国」にたとえられる。しかし、朝雇われた者も日暮れになってようやく雇われた者も、同じ賃金だった、という話の展開は逆説的である。社会常識として、雇い主の行動は不公平だからである。この例話は、神の行為は絶対的であり、人間の判断を超える、ということ、どんな人間も神の救いには平等にあずかりうることを示す。弱い者、小さい者、罪を自覚する者をとりわけ慈しみ、高く挙げることもまたイエスの逆説的の行為である。それは、人として生きた上に迫害され、さげすまれ、ついには処刑されたイエスであったからこそ真実となるし、彼が死から甦ったことによって確かに保証されることなのである。（松本宣郎）

前奏：H.シャイデマン「我ら今聖霊に願いまつる」  
後奏：J.S.バッハ「コラルール：ふるい立て我が心よ」



前奏は北ドイツオルガン楽派を代表する一人であり、バッハよりおよそ100年前に活躍したオルガニスト、H.シャイデマンの作品です。後奏は夜に用いられるコラルールをバッハが和声付けした作品です。（小野なおみ）

礼拝とその後の19時00分から40分までの金持亜実（東京藝術大学教育研究助手）・谷地歎晶子（岩手大学非常勤講師）・中川郁太郎（本学特任准教授）によるカンタータでの賛美に64名の市民が参加されました。

## 礼拝後、金持亜実氏・谷地歎晶子氏・中川郁太郎氏によるカンタータでの讚美

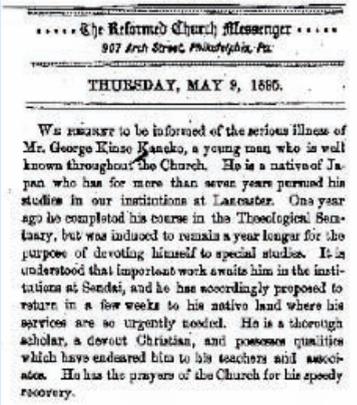
まずバッハによるソロ歌手とオーケストラのための《結婚カンタータ》と《カンタータ第170番》から、ソプラノとアルトのソロの曲を、金持亜実さん、谷地歎晶子さんに1曲ずつ歌っていただきました。続いて「受難と復活」をテーマとしたコラルールを、聖歌隊3年の横田さんと中川が加わって重唱で歌い、最後にドイツ・バロックの作曲家クリューガーによる古様式のモテットと讚美歌第二編227番を皆で賛美しました。小野先生のオルガンにも支えられ、2018年度の締めくぐりに相応しい賛美の時となりました。

（中川郁太郎）



## “FAITHFUL UNTO DEATH” (4)

「金子謹三 — 仙台への招き —」



金子の重病を知らせる記事

『メッセンジャー』は、金子が重病であることを報道し、「教会全体が彼の速やかな回復を祈っている」と記しています。(続く) (東北学院史資料センター 日野哲)

東北学院の神学部では、カリキュラムは完備したものの、聖書、ことに旧約聖書関連の科目を担当する専任教員が欠けていただけに、金子謹三の着任は願ってもしないものでした。金子にしても、仙台は故郷花巻にも近く、いわば錦を飾っての帰郷となるはずでした。

1894年にランカスター神学校を卒業した金子は、東北学院で担当することになる旧約学をいっそう深めるために、とくにガスト教授のもとでヘブル語を中心とする特別研究をさらに一年間続けることにしました。翌1895年5月、11年に及ぶアメリカ留学を終え、金子は蔵書をはじめ身の回りの物を仙台に宛てて発送も済ませて、出発を待つばかりでした。

しかし、一年ほど前から金子の健康を蝕んでいた肺の疾患が急速に悪化し始めていました。5月9日のドイツ改革派教会機関紙『メッ

## 表紙の枠飾りを更新しました



今年度の水曜通信の枠飾りは、キリスト教化されたケルトの美術から取りました。

アイルランドのケルズの修道院にあったことから、『ケルズの書 (Book of Kells)』と呼ばれている有名な写本です。8世紀の福音書の写本で、そのFolio 32vつまり32枚目の裏 (verso) の頁に描かれた枠から取りました。現在はダブリン大学蔵で、縦33、横24センチメートル。この頁は玉座のキリストを描いています。枠のなかの精緻な渦巻き模様は、キリスト教以前のケルト人の好んだ魔術的モチーフで、それもよくみると異形の動物が絡み合っています。得体の知れない魔術がイエス・キリストの福音に支配され飼いならされ成就されているのです。

(鐸木道剛)

## — ランカスター神学校での発見（6）—

### 「シュネーダー夫妻と本多光太郎夫妻との交流」



シュネーダー夫妻は、約50年に及ぶ日本滞在の間多くの仙台市民の信頼を得て、1905（明治38）年に帰米した際には、大統領ルーズベルトに仙台市長および市民から託された日本刀を手渡すなど、緊張関係にあった日米の親善にも大いに貢献しています。

キャンパスを隣接する東北大学とも当時から親しい交流があり、今回収集した資料の中に、シュネーダー夫妻が本多光太郎の私邸にディナーに招かれた時の写真があります。本多は当時東北帝国大学総長でしたが、写真の裏書によれば、「ミセス本多はクリスチャンで、ミセス・シュネーダーの婦人会の中心的なメンバー」であったため、家族ぐるみの交流があったようです。また、「次期院長」として出村悌三郎夫妻も招かれていることから、院長交代を控えたシュネーダーの心遣いも感じられる写真です。

なお、ミセス・シュネーダーのヘルパー布施豊世とよせとミス本多の顔も見えます。

（東北学院史資料センター 日野哲）

## 2019年度の水曜礼拝開催予定

毎月 第3水曜日 18:30～19:30

（礼拝18:30～19:00、礼拝後のイベント19:00～19:30）

土樋キャンパス／ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

- ・ 4月17日(水)
- ・ 5月15日(水)
- ・ 6月19日(水)
- ・ 7月17日(水)
- ・ 8月はお休みです。
- ・ 9月18日(水)



- ・ 10月16日(水)
- ・ 11月20日(水)
- ・ 12月18日(水)
- ・ 1月15日(水)
- ・ 2月19日(水)
- ・ 3月はお休みです。

月に一度、市民向けの礼拝（公開大学礼拝）をおこなっていますので、ぜひご参加ください。

文部科学省私立大学研究ブランディング事業とは：

学長のリーダーシップの下、大学の特徴ある研究を基盤として、全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを行う私立大学に対し、施設費・装置費・設備費と経常費を一体的に支援するもので、各大学の特色化・機能強化の促進を目的としています。東北学院大学は、「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」との事業名で平成28年11月22日に採択されました。

東北学院大学研究ブランディング事業通信  
第21号

2019年4月1日発行

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

TEL：022-264-6547

E-mail：branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

URL：http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/theology/